



福祉クラブ生協機関紙

うえるびー 8

2025/No.401

AUGUST



国際協同組合年

福祉クラブ生活協同組合 〒223-0057 横浜市港北区新羽町 868 TEL045(547)1400 発行責任者 有賀恵子 <https://www.fukushi-club.net/>

「第8次5カ年」地域の夢に向けて 2025年度スタートします

第36回通常総代会は、2025年6月3日、男女共同参画センター 横浜フォーラムにて、総代150人中、出席98人、書面議決40人計138人で開催。1年間の活動方針を審議・決定しました。

※3面では、各地域の第8次5カ年計画の主な内容を紹介しています。

2024年度(福祉クラブ生協創立35周年)主な活動報告

1. 賛同者拡大を最重要テーマに

- 組合員拡大では、知人紹介活動や、生産者とともに企画する「みんなのフェスタ」「大試食会」を実施し、消費材を通して福祉クラブの共同購入をアピールしました。当日加入実績は高まりつつありますが、目標達成には到っていません。
- コミュニティワークを拡げる活動では、社会講座や説明会、介護実践講座を各地域で開催。家事介護、移動サービスでは活動を紹介する動画を新たに作成・活用を図りました。活動推進期間のW.Coメンバー加入は70名でした。



消費材を通して福祉クラブをアピールするため、生産者と共に大試食会を実施

2. 運動と事業の持続、事業マネジメント強化への対応

福祉クラブ職員による事業サポートの実態を踏まえ、「福祉事業・施設事業におけるW.Coと職員の分業と協業PJ」を立ち上げ、W.Coと職員が同一事業を担うモデルをまとめました。

3. 市民参加によるたすけあい活動の促進

法人団体契約や「子ども食堂」の開設、「みんなのクラブ※」の拡大を進めました。「子ども食堂」では、不定期開催やブレ企画開催の費用補助に「みらい子ども・子育てサポート基金」を活用し、新たな実施地域が広がりました。

※さまざまな福祉クラブの活動にボランティアな関わりをする人たちの総称。



福祉クラブ生協第36回通常総代会

2025年度活動方針

2040年問題を見据えた「第8次5カ年計画」初年度の活動がスタートします。市民参加型によるたすけあいのモデルとなる「福祉クラブのある街」の実現に向けて各事業・活動の目標達成をめざします。

◆最重要テーマ:参加を促進する「賛同者拡大」

組合員どうしのたすけあいやコミュニティワークを拡げ、福祉クラブの運動とW.Coの活動を多くの市民に発信し、理念と行動への賛同を拡げます。

1. 福祉専門生協としての機能を発揮

今年は「2025国際協同組合年」。持続可能な開発目標(SDGs)に貢献している協同組合として、生活協同組合の価値を発信し地域力を育み市民参加を拡げます。

2. 未来への共同購入運動の持続へ

次世代に繋ぐ活動を主に、全世代に福祉クラブの共同購入活動を伝える計画、実績作りを進めます。新たな拡大活動や広報手段の新規開発を検討します。

3. 地域で共生する資源の活用、つながりを拡げる

法人団体契約、「子ども食堂」の開設、「みらい子ども・子育てサポート基金」の募集、「みんなのクラブ」の組織化など展開エリアの拡大、開催数の増加に取り組みます。

おりーぶさんとカコさんの 相談室



Q あるから安心? でもスッキリさせたい

長年の生活で思い出が増えると同時に、家中に物も増えて来ました。夫からも多いねと言われる始末。高齢になってくると片付けが大変と聞きます。まだ動ける今がチャンスと思い始めたのですが、思い出にとらわれてばかりで整理が進みません。家を出た子に「小さい頃の物などあるから」と話すと、「うちも狭くなるから要らない」と言われました。あまりにもアッサリしていて、かえって淋しさを感じるばかりです。こんな気持ちを切り替える素敵なアドバイスをいただけたらと思います。

(60代後半 悩める主婦)

A おりーぶさんのお答え

思い出に纏わる物は整理の仕方が一番難しいと思います。まずは「動ける内に」、各収納場所の片付けに重点を置き、絶対不要なものを捨てて、収納の空間を作る方針はいかがでしょう。そこでも基準に迷いは生ずるでしょうが、あるプロが提唱する、すべての物を外に出して、「心惹かれる物」を残し、他は処分へ。迷う時は、「保留箱」に入れ、いずれまた検討を。収納場所に余裕が出来たら、思い出の品々を纏めて、それらも一旦「保留」にされるのが良いと思います。量によっては、「永久保存」に。衣食住を担って生活している以上、衣服数枚だけで世を去ることは不可能なので、「ご苦労かけるけど、後はよろしく」と一思いに何とかしようと思わず、心情に無理のないように。

納得・愛着・こだわりの消費材

梅干し

生産者：農業生産法人(有)王隠堂農園



元々、梅と柿を生産していた農家の王隠堂誠海(おういんどうまさみ)氏が、奈良県の五條市西吉野町を中心に、有機農業で生産者の手から消費者の手へ直接届ける「産直事業」をスタートさせ、仲間を拡げました。

1970年代は、国や県が山間農業者に対し、見映え良く多収穫を求め、化学肥料、化学農薬、除草剤の多投を指導していた時代。結果、見た目のきれいな品の多収穫を達成し、収入も増えます。その陰で農薬散布後に体調を壊す生産者が増え、王隠堂氏にとって農薬・農法に対する疑念が湧いていきます。世間でも森永ヒ素ミルク中毒事件やベトナムの枯葉剤の問題、水俣病などの公害問題が大きな社会問題でした。

持続可能な地域作りをめざして

自然農法、農薬の害、河川生態学などを学び、「安全・安心な農産物作り」を宣言。自然と共存し生産者自身の健康を守る豊かで明るい農村をめざし、移動販売を始めます。その販売先で、組合員の集会を見かけ、生活クラブ生協の想いや食へのこだわりを聞き、理念が合致。王隠堂氏は、志を同じくする仲間を集い、共同組織として、1984年農業生産法人(有)王隠堂農園を設立。地域の共同体としての王隠堂農園と生活クラブとの産直提携が始まりました。



収穫された梅



梅の選別作業と赤しそで漬けた梅干し

塩のみ(食塩は、提携生産者「青い海」)。天日干し後、赤しそで色付けし、着色料、保存料を使用せず、脱塩も行いません。

一方で、市販品は中国産が多く、加工前に水にさらし塩抜きします。その上で、調味料や着色料、保存料などの調味液に漬け、「調味梅干し」として販売されています。そのため包材表示には、還元水飴、リンゴ酢、食塩、蜂蜜、酵母エキス、赤しそ液、酒糟、調味料、アミノ酸、野菜色素、甘味料等々が表記されます。違いは明確です。

栽培から加工、販売、その先の体験まで

農産物を作るだけでなく「加工」「販売」、レストランや観光などの「体験」までを手がける、6次産業化を体現しています。



(※1次×2次×3次の掛け合わせた造語)
取り扱い品目は、梅、柿、赤しそ、柑橘、野菜。加工品は梅干し、あんぼ柿、刻み紅しょうが等があります。近年は、山間地域における有畜複合農業実験取り組みや古民家レストラン、農業体験・交流、新規就農者の受け入れ、地域の学校との連携、農福連携にも取り組んで活動を展開しています。(鈴木)



梅干し生産者

知ってる? 「消費材」ウラ知識

消費材クイズ

王隠堂農園で梅干しに使う梅の種類は何?



答えはこのうるびーにもあります
答えは
ホームページで 福祉クラブ 検索
<https://www.fukushi-club.net/>

2025年度 第1回 理事会報告

(1) 経営状況

2025年4月の総事業高は、3億6,579万円で予算額3億7,068万円に対して98.7%、金額で489万円下回りました。前年金額3億5,682万円に対して102.5%、897万円上回っています。

(2) 福祉クラブの防災対策

BCP対策(災害等の非常事態発生時の事業継続計画)や緊急マニュアルに基づき、4センター及び各福祉施設、子育て拠点において、毎年防災訓練の実施や備蓄品等のチェックを行っています。また、5拠点でAEDを設置し、救急救命講習を定期実施しています。

(3) もったいないを国際協力に！ 7月14日～25日まで回収中

NPO「地球の木」の国際協力活動の一環として今年で11回目となります。ネパール、カンボジア、ラオス等での自然資源の管理や教育支援活動を目的に、書き損じハガキ、未使用切手、商品券、貴金属等の回収を呼びかけています。2024年度は79名、総額641,012円でした。ありがとうございました。引き続きご協力お願いいたします。

経営状況(万円)	科目	4月分	年度累計	累計前年比%
	供給高	23,342	23,342	104.0
	福祉事業高	7,910	7,910	99.0
	施設事業高	5,064	5,064	103.6
	利用事業高	148	148	57.9
	共済受託収入	114	114	101.2
	総事業高	36,579	36,579	102.5
	事業総剰余	11,844	11,844	98.0
	人件費	2,883	2,883	105.1
	委託費	3,314	3,314	110.7
	物件費	4,413	4,413	101.2
	諸経費計	12,047	12,047	104.6
	事業剰余	-202	-202	—
	事業外収入	214	214	91.3
	事業外費用	313	313	116.4
	事業活動剰余金	-300	-300	—
福祉事業会費賛同登録者数10,289人(65.2%)			金額 100万円	

こんにちは。日吉センター職員の松林です。福祉クラブ生協に入職してから、気が付けば20年以上が経ちました。あつという間の20年で自分でもビックリしています。

これまで配送業務でさまざまなエリアにお伺いしてきましたが、どのエリアでも組合員が、福祉クラブ生協の消費材をそれぞれこだわりを持って利用し続けていることを日々実感しています。年齢とともに体力の衰えを感じる今日この頃ではありますが、まだまだ頑張っ、こだわりの消費材を皆さんにお届けしていきます。お友だちやお知り合いにもぜひこの消費材を拡げていきましょう！



(日吉センター 松林)



福祉クラブでは、地域の組合員が必要とするサービスをつくり、より暮らしやすい街づくりを進めています。

2025年～2029年の夢に向け、各自治体・行政区のたすけあい活動を広げましょう

【組合員数】2029年度時点の目標数

【新たな活動】各5ヵ年計画の主な活動を抜粋

第8次5ヵ年計画は、各地域協議会・同準備会、自治体行政区連絡会議、各W.Co理事会にて討議し、第36回通常総代会(2025年6月3日)で決定し、実行に移していくものです。

		組合員2029年 期末目標数	新たな活動やサービス			組合員2029年 期末目標数	新たな活動やサービス
横浜市	港北区	2,976	ライフサポートW.Co設立	川崎市	幸 区	703	食事サービス全域化 介護生活用品店「らく・らっく」再開
	神奈川区	1,004	食事サービス日曜配食の開始		高津区	470	居場所たまり場開始
	保土ヶ谷区	341	食事サービス開始 居場所たまり場開始		宮前区	712	複合福祉施設開所
	南 区	361	家事介護W.Co設立		多摩区	406	活動拠点の移転
	緑 区	994	居場所たまり場（若い世代向け）開始		麻生区	318	移動サービス広域化の検討
	青葉区	465	移動サービスW.Co設立	鎌倉市	2,568	居場所兼学習支援開始	
	都筑区	355	居場所たまり場開始 移動サービスW.Co設立	逗子市葉山町	603	食事サービス法人団体契約先の拡大 介護生活用品店「らく・らっく」開設	
	栄 区	965	横浜市親と子のつどいの広場事業開始	藤 沢 市	1,810	ライフサポートW.Co設立 食事サービス日曜配食の開始 子ども食堂開始	
	金沢区	537	法人団体契約先の拡大 介護保険事業所開設				
	磯子区	335	介護保険事業所開設				厚 木 市
	港南区	400	多世代食堂の開始 横浜市親と子のつどいの広場事業開始	相模原市	320	居場所たまり場開始	
	戸塚区	893	複合福祉施設の開所（保育室） 食事サービス全域化				

LOVE PET ♡ LOVE PET ♡ LOVE PET ♡

ペット



うーるびー紹介

最年長は大磯から来たしらたま(15歳くらい)です。そして2匹のきょうだい猫は、近所みんなで面倒をみていた「三毛猫母さん」に、ある日5匹の子猫! 近所と分担して我が家には、白くて大きいマメと、三毛猫こげが仲間入り。(宮前区 W)

※あなたのペットをご紹介します。ご連絡は編集室まで。

ひとりごと

編集室から

美術館には100年前どころか1000年以上前の絵や書が展示されています。経年劣化で退色等々傷んだ作品も有りますが、描かれた色そのままに鮮やかさを留めている作品もたくさんあります。日本は温湿度などの変化が大きいゆえ、劣化を最小限に留める工夫、研究は必須です。入館料の何分の一かが作品の保存のために使われているんだと考えながら館内を歩いてきました。(渡辺)

わたしのうた

山並みの明けゆく空に手を合わせ
今日の一日を祈りおるなり

健康になれたことに感謝し今日の一日(ひとひ)をお守りくださいと祈りながら日の出を拝んでおります。

妙子

遠花火家族そろいでのぼり来る

公園までの坂道を急いで自転車で登ると、そこは誰もいない特等席。一気に心がゆるみ、家族みんなで見ることができた思い出が詰まった花火でした。

真由美

※短歌、俳句、川柳、詩等の投稿をお待ちしています。創作の思いを六十字程度添えて、うーるびー編集室まで送付してください。配達
のW・Co職員に預けていただいても結構です。



かおる

【訂正とお詫び】7月号「施設探訪」に掲載の居宅介護支援W.Co名は、正しくは「オブティ連」でした。訂正してお詫び申し上げます。

「シニア支えあい基金」 助成団体紹介

逗子市 「メロディ〜館逗子葉山」を活用した「サロン・池子市場」

逗子市池子1-6-7

2018年3月開所後、何でも話せる場として2019年からサロンを始めました。今では第4水曜開催で定着しています。

市から出張して来てくれる「出前講座」を利用して介護予防体操、口腔ケア等の健康づくりを意識して企画しています。また、消費材を知る機会としての共同購入の生産者交流会や、ライフサポートW.Co「エールとも」の歩行用具学習会は、メンバーにも好評です。併設している小規模多機能サービスの利用者をお誘いすることもあります。また、同時時間帯に玄関前で「市場」を開き、葉山の野菜、食事サービスのご飯等を販売しています。これからも参加しやすいサロンをめざしていきます。

(児玉)



(上)「エールとも」歩行用具学習会
(下) 生産者交流会の様子
(左) 玄関前で「市場」を開き、野菜や食事サービスの惣菜などを販売

福祉クラブでは、組合員の望む寄付の形として「活動支援基金」を創設しています。2024年度末の在 High金額が8,629,216円となりました。その内の「シニア支えあい基金」を利用した活動を2つ紹介します。

南区 組合員や地域の方が集う場「みなみのひろば」

横浜市南区南太田4-2-20 ツインヒルズ1階

2020年1月から開始。始めるにあたり、南区の組合員のニーズを知るためとボランティア募集を兼ねてアンケートを実施しながら準備しました。当初は2ヵ月に1回の開催で実施し、企画、チラシの作成や配布の手配をW.Coが持ち回りで始めました。その後、新型コロナウイルス感染拡大の影響で休会状態となりましたが、2021年3月から再開し、現在は「生活館みなみ」で毎月開催しています。

4月開催の第42回は「バイオサポ食材セットで時短料理」がテーマ。ワーカーメンバーと組合員の皆さんと消費材の話も交えて、楽しく調理をし試食しました。楽しい企画で組合員と地域の方がふれあい、福祉クラブを知って貰う機会のある場としていきたいと思っています。

(椎名)



バイオサポ食材セットのお試し調理とできあがり例



これからも楽しい企画を考えます

今日の
W.Co

移動サービスW.co「らら・むーぶ・栄」

—安心・安全・信頼をモットーに—



ドライバー11名で、外出支援(200件/月)、「Dayいのやま」送迎(3回/日)を行っています。また、栄区内のケアプラザ、障がい者施設、行政から外出支援の依頼が多く、四苦八苦ですが頑張っています。ケアプラザからは「らら・栄に任せると安心」という声を多く頂き、信頼される存在となっています。事務所では、デイサービ



デイメンバーと協力して安心安全に

スW.Co、ケアマネジャーの居宅介護支援W.Co、家事介護W.Co等と意思の疎通が図れた活動ができています。



笑顔が増えるリフレッシュツアー

促があり、メンバーたちにも楽しい時間です。

またリフレッシュツアーはとても楽しみにされ、3月に苺狩り・海鮮料理の昼食・道の駅の買い物等好評でした。「次も早く計画して」と催

(らら・栄一同)

消費材とツーショット



鎌倉市(左)弟「ときほ君」(右)兄「あらた君」

チキンナゲット

子どもたちの大好物! お弁当に入れたり、夜ごはんのもう一品! という時にも! パパとママもつつい食べすぎちゃいます!



日吉センター

横浜市港北区日吉5-21-31
TEL045-561-3030(代表)
FAX045-564-9858(代表)

横浜市	港北区・鶴見区・南区・ 神奈川区・保土ヶ谷区
川崎市	幸区・中原区・川崎市(一部)

鎌倉センター

鎌倉市台5-2-22
TEL0467-48-3955(代表)
FAX0467-48-3136(代表)

横浜市	栄区・金沢区・磯子区・港南区
鎌倉市	全地域
逗子市	全地域
三浦郡	葉山町 横須賀市 一部

初山センター

川崎市宮前区初山2-1-7
TEL044-977-0705(代表)
FAX044-977-2556(代表)

横浜市	緑区・青葉区・都筑区
川崎市	高津区・宮前区・多摩区・麻生区

藤沢センター

藤沢市善行6-19-51
TEL0466-80-5710(代表)
FAX0466-82-6975(代表)

横浜市	戸塚区・旭区
藤沢市	全地域
厚木市	全地域
相模原市	南区 茅ヶ崎市 一部

【2面消費材クイズの答え】「南高梅」です。大粒で皮が薄く果肉が厚い南高梅が梅干しに向いています。詳しくは福祉クラブ生協のホームページをご覧ください。

うえるびーへのご意見ご感想は TEL045(547)1400/FAX045(547)1414 うえるびー編集室まで ■編集責任/福祉クラブ生協 ■レイアウト/セッションD